

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
9	東京工科大学	国際関係論	落合 浩太郎 教養学環 教授	2	前期	木	14	10:45～12:25	東京工科大学 八王子キャンパス	若干名

#### 【到達目標】

国際的な教養の基礎として、世界の現状を知るために、リベラルと保守、先進国と途上国、自由・民主主義と権威主義といった基礎概念を理解して下さい。さらに、基礎的な指標、世界の国の数や人口(今後の予測を含む)、主要国・地域の人口やGDPも同様です。グローバリゼーションとは何か、なぜ反発する動きが強まっているのかを理解して下さい。民主主義の危機、格差、ポピュリズム、気候変動、SDGs、対テロ戦争、デモクラティック・ピース等のキーワードを説明できることを目指します。

#### 【授業の概要】

世界は様々な政治体制・民族・宗教の200の国からなります。1990年頃東西冷戦が終わり、多様な世界がグローバリゼーションによって「アメリカ化」するかと思われました。しかし、21世紀に入って、反グローバリゼーションの動きが強まっています。グローバリゼーション(統合)と反グローバリゼーション(分裂)をキーワードにして、世界の現状を政治・経済・文化・宗教等の多様な視点で学びます。

#### 【授業内容】

第1回:世界の多様性(1)	第6回:反グローバリゼーション(1)民族・人種	第11回:食で見る世界
第2回:世界の多様性(2)	第7回:反グローバリゼーション(2)宗教	第12回:スポーツで見る世界
第3回:グローバリゼーション(1)経済	第8回:反グローバリゼーション(3)経済・文化	第13回:戦争と平和
第4回:グローバリゼーション(2)文化	第9回:アメリカ極支配は終わるか	第14回:数字で見る世界
第5回:グローバリゼーション(3)環境	第10回:民主主義の危機	

#### 【成績評価方法】

期末テストは行わず、5回(各20%)の小テストを基本に、発言点を加味します。小テストは50%以上の得点が単位習得の目安です。

#### 【教科書】

指定しません。

#### 【参考書、教材等】

中西寛『国際政治とは何か』中央公論新社  
 ジョセフ・ナイ『国際紛争』有斐閣  
 ロスリング『TACTFULNESS』日経BP

#### 【履修上の注意】

講義中の私語や無関係の作業を禁止するので、熟慮の上で履修して下さい。

#### 【準備学習】

日常的に新聞を読み、テレビのニュース見て、世界と日本で起きていることを知った上で出席して下さい。復習としては、図書館所蔵の『ニューズウィーク』、『AERA』、『文藝春秋』、『中央公論』、『世界』等の雑誌、講義で紹介する本を読んで、理解を深めることを求めます。

※ この授業は、4/9(木)が初回です。